

2025年10月2日
株式会社スマートプラス
株式会社 Finatext ホールディングス

スマートプラス、DWM に債券投資支援サービス 「DWM Bond Navigator」を搭載

～AI 活用による投資分析の高度化と専門レポート配信で事業者の提案力向上を支援～

次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現する Finatext(フィナテキスト)グループの株式会社スマートプラス(本社:東京都千代田区、代表取締役:小林 紀子、以下「当社」)は、証券取引プラットフォーム「Digital Wealth Manager(デジタル ウェルス マネージャー、以下「DWM」)」において、債券投資に特化した包括的な支援サービス「DWM Bond Navigator(ディーダブルエム ボンド ナビゲーター)」の提供を 2025 年 10 月 2 日(木)より開始します。本サービスは、IFA 事業者、保険代理店等の DWM を利用する事業者における債券投資提案の効率化と専門性向上を実現します。

■背景

日本の金利環境と比較して、相対的に高い利回りが期待できる外国債券への投資ニーズが拡大しています。また、2024 年から開始された新 NISA 制度により、個人投資家の資産運用への関心が高まり、株式や投資信託に加えて、債券を含めた国際分散投資への需要が増加しています。

一方で、IFA 事業者や保険代理店等が債券投資の提案を行う際には、以下のような課題に直面しています：

- 海外市場の分析には高度な専門知識と最新の市場情報が必要
- 顧客一人ひとりのニーズに応じた債券ポートフォリオ提案に時間がかかる
- グローバル市場での投資判断をサポートする効率的なツールの不足

課題を解決するため、DWM を利用する事業者が質の高い債券投資サービスを提供できるよう、当社は債券投資に特化した支援サービス「DWM Bond Navigator」を開発しました。

■「DWM Bond Navigator」の概要

「DWM Bond Navigator」は、債券投資における情報収集から分析、提案までを包括的にサポートする、DWM を利用する事業者向けの専門サービスです。最新の AI 技術と当社の金融専門知識を組み合わせることで、従来は大規模な金融機関でなければ提供が困難であった専門的な債券投資支援を、すべての DWM 利用事業者に提供します。

【主要機能 1】債券専門レポートの定期配信サービス

当社のアナリストチームが、海外市場の動向を分析した専門レポートを週 2 回(火曜日・金曜日)配信いたします。

レポート内容：

- 米国をはじめとする主要国の金融政策と市場への影響分析
- 海外金利動向と為替相場を踏まえた投資機会の解説
- 注目債券の詳細分析(信用リスク、金利リスク評価を含む)
- セクター別・格付け別の投資戦略提案
- 市場トレンドと今後の見通し

本レポートは、DWM を利用する事業者へ直接配信されます。顧客への情報提供や投資提案の裏付け資料として活用可能です。複雑な海外市場の動向を分かりやすく解説し、事業者の専門性向上と顧客への付加価値提供を支援します。

【主要機能 2】保有債券診断機能

最先端の AI 技術と豊富な市場データを組み合わせた機能です。顧客が保有する債券ポートフォリオを多角的に分析します。従来の人的分析では困難であった大量データの同時処理により、精密で客観的な診断を実現します。

診断項目：

- リスク分散状況の評価：発行体、業種、地域、格付け、償還年限別の分散度合いを定量的に測定
- 収益性分析：現在の市場環境における収益機会の発掘
- 流動性リスク評価：各銘柄の取引量や市場での流通状況を基にした分析
- 金利リスク測定：デュレーション分析による金利変動影響度の算出
- 為替リスク評価：通貨別エクスポージャーと為替変動の影響分析

診断結果に基づき、以下のアドバイスを自動生成します。

- 売買推奨銘柄の提案
- ポートフォリオの最適化案
- リスク軽減のための具体的な取引提案

DWM を利用する事業者は効率的に顧客への提案書を作成することが可能となります。

■ DWM を利用する事業者へ提供する価値

1. 業務効率の向上

専門的な分析レポートと AI を活用した診断機能を活用できます。従来は数時間かかっていた債券ポートフォリオの分析作業を短縮します。より多くの顧客へのコンサルティング時間を創出できます。

2. 提案力の強化

海外市場の専門的な分析情報を活用できます。AI による客観的な診断結果も利用可能です。顧客への説得力のある提案が可能になります。

3. 収益機会の拡大

債券投資の提案機会が増加します。投資信託や株式に加えた総合的な資産運用サービスの提供が可能です。顧客単価の向上が期待できます。

4. 差別化要因の獲得

中小規模の事業者でも専門性の高い債券投資サービスを提供できます。「DWM Bond Navigator」の活用により、競合他社との差別化を図ることができます。

■ 今後の展開

当社は、「DWM Bond Navigator」の機能を継続的に拡充し、DWM を利用する事業者のニーズに応じた機能改善を進めます。2025 年内には追加機能の提供も予定しており、さらなる業務効率化と提案力向上を実現します。

また、債券市場の変化に応じて、取扱商品の拡充や新たな分析機能の追加など、DWM を利用する事業者の皆様がより効果的に債券投資サービスを提供できるよう、プラットフォームの進化を続けます。

■「Digital Wealth Manager」について



「DWM」は、当社が提供する証券取引プラットフォームです。仲介・媒介業者が容易かつ迅速に独自ブランドの証券サービスを構築・提供することを可能にします。各事業者は独自の運用戦略を採用した投資一任運用サービスを構築することができる他、日米株式を投資対象としたアクティブ型投資一任運用サービス「+Alpha(プラスアルファ)」を予め搭載しており、厳選された投資信託および債券の取引機能も備えています。各事業者は自社のニーズに応じた商品を選択して独自色のある証券取引プラットフォームとして活用できます。契約締結後、最短 2 週間程度でサービス開始が可能な点も特徴です。

・DWM の詳細：<https://ifa.smartplus-sec.com/ifalp/>

なお、本件による業績への影響は軽微であります。

以上

【Finatext グループと株式会社スマートプラスについて】

Finatext グループは、「金融を“サービス”として再発明する」をミッションに掲げ、次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現するフィンテック企業グループです。金融サービスのあるべき姿をユーザー視点から見直し、パートナー事業者と共に新しい金融サービスを開発する「株式会社 Finatext」、オルタナティブデータ解析サービスの「株式会社ナウキャスト」、証券ビジネスプラットフォームを提供する「株式会社スマートプラス」、次世代型デジタル保険の「スマートプラス少額短期保険株式会社」といった事業会社を擁し、「金融がもっと暮らしに寄り添う世の中」の実現を目指しています。



会社名	:	株式会社 Finatext ホールディングス
代表者	:	代表取締役社長 CEO 林 良太
証券コード	:	東証グロース市場 4419
設立	:	2013 年 12 月
所在地	:	東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号 住友不動産九段ビル 9 階
公式サイト	:	https://finatext.com

■株式会社スマートプラス

株式会社スマートプラスは、証券ビジネスプラットフォーム「BaaS(バース):Brokerage as a Service」を軸に、事業者による自社顧客向け証券サービスの提供を支援するフィンテック企業です。次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現する Finatext グループにおいて、証券領域における金融インフラストラクチャ事業を担っています。



会社名	：	株式会社スマートプラス 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 3031 号
代表者	：	代表取締役 小林 紀子
設立	：	2017 年 3 月
所在地	：	東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号 住友不動産九段ビル 9 階
事業内容	：	金融商品取引業
加入協会	：	日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、 一般社団法人日本投資顧問業協会
公式サイト	：	https://smartplus-sec.com/

商号等:株式会社スマートプラス

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第 3031 号

加入協会:日本証券業協会・一般社団法人日本投資顧問業協会・一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<重要事項>

■口座開設・お取引に関するご留意事項

- ・スマートプラスでお取引いただくこととなった際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。
- ・株式のお取引については、株価の下落により損失を被ることがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により損失を被ることがあります。投資信託のお取引についても基準価額の下落等により損失が生じる恐れがあります。また、債券のお取引については、相場の下落等により損失を被ることがあります。
- ・為替取引を伴う外国証券の取引については、前述に加えて為替相場の変動による損失を被ることがあります。
- ・レバレッジ型・インバース型 ETF は運用にあたっての諸費用等により対象とする原指標と基準価額に差が生じる場合があり、中長期にあたってはその乖離が大きくなる可能性があるほか、複利効果により利益を得にくくなる場合があります。
- ・当社における各種口座開設に際しては当社所定の審査があります。
- ・資料等の中で個別銘柄が表示もしくは言及されている場合は、あくまで例示として掲示したものであり、当該銘柄の売買を勧誘・推奨するものではありません。
- ・お取引に際しては当社から交付される契約締結前交付書面、目論見書その他の交付書面や契約書等をよくお読みください。

■投資一任契約に関するご留意事項

- ・スマートプラスと投資一任契約を締結した際には、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。
- ・当社がお客様と締結する投資一任契約に基づき投資運用を行うもので、投資元本は保証されるものではなく、運用による損益はすべてお客さまに帰属します。
- ・投資対象は、値動きのある国内外の有価証券等となりますので、株価、金利、通貨の価格等の指標に係る変動や発行体の信用状況等の変化を原因として損失が生じ投資元本を割り込むおそれがあります。
- ・投資一任契約お申込みの前に、契約締結前交付書面や約款等をよくご確認いただき、ご理解のうえお申し込みください。
- ・投資一任契約にはクーリング・オフ(金融商品取引法第 37 条の6の規定)は適用されません。
- ・表示される過去の運用成績については将来の運用成果を保証するものではありません。